

中華街まちなかキャンパス ～横浜中華街の世界～ 2025 年度募集要項

【主催】横浜商科大学

【後援】横浜中華街「街づくり」団体連合協議会

受講料
500 円



横浜の異国情緒の象徴であるとともに、市内で最も高い集客力を誇る観光地である横浜中華街。また、開港とともに発展してきたこの街は、日本最大のチャイナタウン（中国人街）としても知られています。そうした中華街の歴史や、街が育んできた文化を、そこで生まれ育った方々から直接学ぶことを通じて、国際都市・横浜のルーツやアイデンティティを探究していきます。

講師は、横浜中華街の歴史研究、あるいは地域再生や商業活性化に携わっている方々、チャイナタウンや華僑・華人社会について調査・研究を行っている方々などが担当します。なお、多くの講師が実際に横浜中華街で生まれ育った方々です。そうした方々と直接ふれあい、皆さまに様々な新しい発見をしていただくための講座です。

講 座 の 概 要

- 5月12日から7月7日までの月曜日（18：00～19：30）に開講する全9回のシリーズ講座です。ご希望の講義だけを選んで受講することもできます。講座のくわしい内容については、裏面をご覧ください。
- 受講料は1講義500円です。当日、会場の受付でお支払いください。
- 各回の定員は20名で、先着順に受付けます。なお、定員に余裕のある場合は当日受付もいたします。

お申込み方法および申込みにあたってのご注意

- お申込みの際は、受講ご希望の講義の開講日、講義タイトル、ご氏名をEメールでご連絡ください。
【Eメール送付先】sassa@shodai.ac.jp（担当／佐々）
- Eメールでのお申込みができない場合は、以下の申込み票に必要事項をご記入のうえ、ファックスでお送りください。
- 受講のお申込みは、各講義の開講日の3日前までお願いいたします。
- 定員を超過し、お申込みをお受けできない場合のみ、大学（佐々）よりご連絡申し上げます。連絡のない場合は会場へお越しください。
- 災害や交通機関のトラブル、講師の急病等の場合には休講になることがございます。あらかじめご了承ください。なお、その際には可能な限りご連絡申し上げます。
- ご記入・ご送信いただきました個人情報につきましては十分に注意を払って管理し、講座運営のためにのみ使用いたします。

お申込み票（FAX 045-571-4125 E-mail sassa@shodai.ac.jp）

2025 中華街まちなかキャンパス（横浜商科大学 教務課宛）

氏 名	(ふりがな)		
住 所	〒		
電 話		F A X	
Eメール			
ご希望の講 義	☐ をぬりつぶしてください。 ☐ 第1回（5月12日） ☐ 第2回（5月19日） ☐ 第3回（5月26日） ☐ 第4回（6月2日） ☐ 第5回（6月9日） ☐ 第6回（6月16日） ☐ 第7回（6月23日） ☐ 第8回（6月30日） ☐ 第9回（7月7日）		

各回のテーマと講師のご紹介

★第1回を除き、講義会場は横浜華僑婦女会館（<http://funuhui.main.jp/access1.html>）3階です★

■第1回 5月12日（月） 18:00～19:30	★この回は横浜関帝廟に集合してください。参詣後、横浜華僑總會講堂で講義を行います。 横浜関帝廟参詣と中国獅子舞 【講師】謝 賢榮〔横濱中華學院 伝統文化指導担当〕 1967年横浜生まれ。華僑2世。現在、中国の伝統芸能である龍舞・獅子舞の指導を横濱中華學院の幼稚園から高校まで行い、横浜中華保育園や横浜市立元街小学校などでも龍舞・獅子舞を指導している。中国獅子舞の世界大会にも出場した経験を持ち、2009年からは、「中華街まちなかキャンパス」講師も務める。また、横浜関帝廟においても、伝統行事や神事などの執行役の幹事職も務める。横浜中華街の伝統文化を次世代に伝承する活動を行っている。横浜華僑總會理事、横浜関帝廟幹事、横浜中華街コンシェルジュ（一期生）初代表幹事。
■第2回 5月19日（月） 18:00～19:30	横浜春節祭とビッグデータの活用について 【講師】石河 陽一郎〔ロウロウジャパン 代表取締役社長〕 1972年茅ヶ崎生まれ。関東学院大学卒。輸入雑貨屋、商社などを経て、2000年にロウロウジャパンを設立。シンガポールで育った経験を元にアジアンミックスなレディースのアパレルブランドの商品の企画、製造、販売まで行っている。映画やTVドラマ、TVCMでタレント、歌手、女優の衣装も提供。横浜中華街発展会協同組合副理事長として、横浜中華街の振興やまちづくりに尽力。2025年横浜春節祭実行委員を務める。
■第3回 5月26日（月） 18:00～19:30	横浜中華街の環境整備 【講師】武松 昭男〔武松事業デザイン工房 シニアマネージャー〕 1962年、横浜市中区生まれ。横浜中華街発展会協同組合副理事長。大学卒業後、ホテルでフロントマンとして働いたのち、父親が創業した廃棄物処理会社に入社。現場業務に携わりながら営業部を立ち上げ、廃棄物処理業や再生資源業界の社会的な地位向上に尽力する。2007年、武松事業デザイン工房を設立し代表となる。廃棄・リサイクル・環境等、幅広い視点から事業を展開している。
■第4回 6月2日（月） 18:00～19:30	横浜開港と中華街 【講師】伊藤 泉美〔横浜ユーラシア文化館 副館長〕 1962年、横浜生まれ。横浜市立大学卒、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士課程修了。博士（人文科学）。横浜華僑華人の歴史が専門。横浜開港資料館主任研究員を経て、2019年より現職。主な著作に『横浜華僑社会の形成と発展：幕末開港期から関東大震災期まで』（山川出版社）『横浜中華街 開港から震災まで』（横浜開港資料館）、『開国日本と横浜中華街』（共著、大修館書店）など。
■第5回 6月9日（月） 18:00～19:30	横浜中華街に生きた人々の伝統文化と風習 【講師】符 順和〔塾「寺子屋」主宰/元・横浜山手中華学校教諭〕 1944年生まれ。横浜山手中華学校退職後、塾「寺子屋」を主宰。『華僑・華人史研究の現在』（汲古書院、1999年）に「横浜中華義荘の調査について」を発表。『華僑・華人事典』（弘文堂、2002年）に部分執筆。また『横浜華僑婦女会五十年史』『横浜山手中華学校百年校誌』『関帝廟と横浜華僑』の編集に携わる。
■第6回 6月16日（月） 18:00～19:30	世界のチャイナタウンと拡大する華人ネットワーク 【講師】陳 天璽〔早稲田大学国際教養学部 教授〕 1971年、横浜中華街生まれ。筑波大学大学院国際政治経済学博士。香港中文大学、ハーバード大学客員研究員、日本学術振興会特別研究員、国立民族学博物館准教授等を経て現職。華僑華人、無国籍者に関する研究に従事。著書に『華人ディアスポラ』（明石書店）、『無国籍』（新潮社）、『無国籍と複数国籍』（光文社）など。
■第7回 6月23日（月） 18:00～19:30	日本のラグビー発祥地と横浜中華街ー日本最古のフットボールクラブの謎に迫る 【講師】長井 勉〔（一社）神奈川県ラグビーフットボール協会プロモーショングループ担当理事〕 浅野高校、早稲田大学商学部卒。情報処理会社を設立、役員を務める。著書に『キックオフの笛が聞こえる・・・日本のラグビーは横浜から始まった』、『公文書館紀行』、『公文書館紀行（第二弾）』（以上、丸善出版）などがある。その他 JIIMA（日本文書マネジメント協会）発行機関誌などに公文書管理に関する論文多数。また神奈川県ラグビー協会常任理事を経て、2019年ラグビーワールドカップ開催記念に「日本のラグビー発祥地 横浜」記念碑建立の事務局長を務める。現在、同協会理事。2021年1月国立公文書館 認証アーキビスト取得。
■第8回 6月30日（月） 18:00～19:30	中国舞踊による伝統文化紹介 【講師】区 愛玲〔中国舞踊家〕 横浜生まれの華僑三世。日本女子体育短期大学舞踊専攻卒業後、中国舞踊の登竜門北京舞踊学院へ留学、中国民間、民族、古典舞踊を学ぶ。楊貴妃中国舞踊スタジオを主宰し、中国各地に住む56の民族の暮らしに生きる舞踊や歴史に残る数々の中国舞踊を伝承している。
■第9回 7月7日（月） 18:00～19:30	中華料理あれこれ 【講師】曾 徳深〔横浜華僑総会 顧問/菜香グループ 代表〕 長年華僑の公益事業に携わり、また横浜中華街大通り商店街振興組合理事長・横浜中華街「街づくり」団体連合協議会副会長として中華街の街づくりに関わる。経営する新光貿易は、業務用ウーロン茶を初めて日本に輸入した「先駆け」。広東料理店「菜香新館」、担々麺「匠」や中国茶専門店「悟空茶荘」、中華食材店「耀盛号」などを経営する。

お問い合わせ先

■横浜商科大学 教務課

◇住所 〒230-8577 横浜市鶴見区東寺尾4-11-1

◇電話 045-583-9062

※電話での受付は月～金曜日の9:00～16:30（祝日を除く）とさせていただきます。

◇FAX 045-571-4125

◇Eメール sassa@shodai.ac.jp〔商学部教授・佐々〕